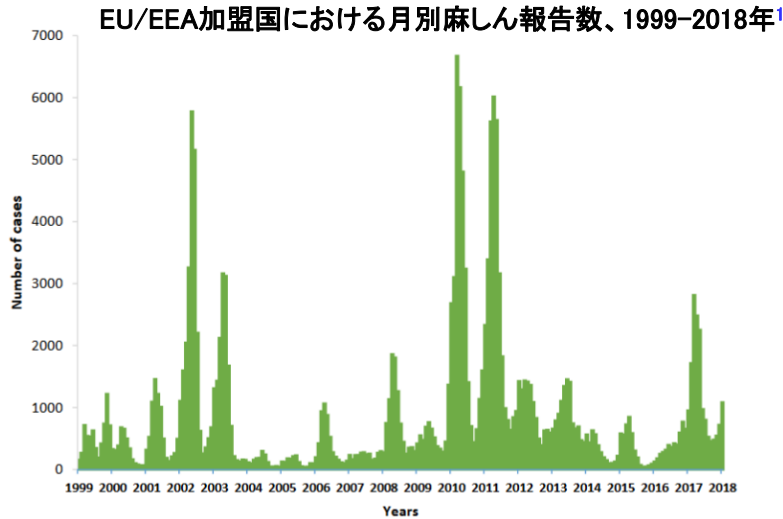


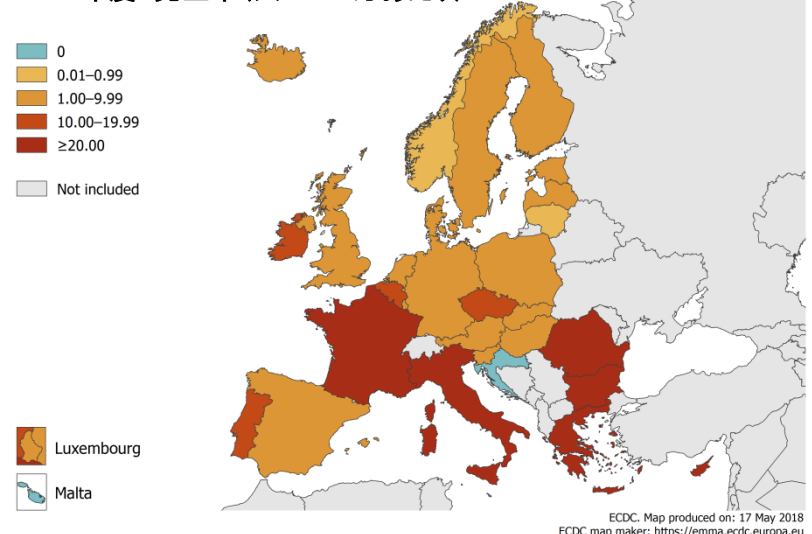
欧州連合 (EU)、欧州経済領域 (EEA)*における麻疹近況

*EU/EEA加盟31カ国中、リヒテンシュタインを除く30カ国からデータを収集。

- 過去20年間に麻疹の流行が複数回認められている。
- 2017年4月1日から2018年3月31日までの1年間に、28カ国から14,216例(28死亡例含む)が報告された。症例が認められなかったのはクロアチアとマルタのみ。
- 上位5カ国: イタリア(4,448例, 31%), ルーマニア(3,243例, 23%), ギリシャ(2,400例, 17%), フランス(1894例, 13%), イギリス(486例, 3.4%)



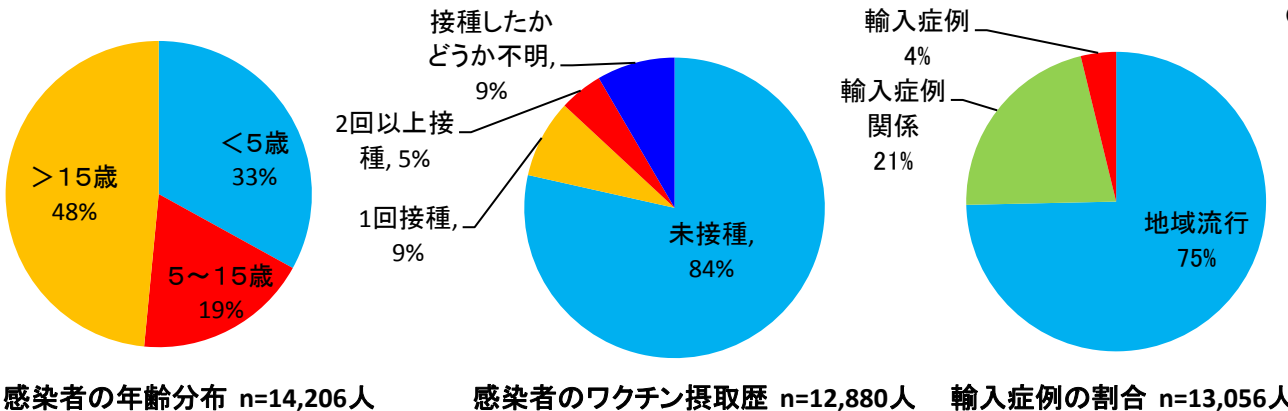
2017年度 発生率(人口100万あたり)



報告症例の詳細 2017年4月1日～2018年3月31日

- 過去3ヶ月では5カ国で増加が目立っている。

国名	2018年 1月	2018年 2月	2018年 3月
フランス	237	523	757
ギリシャ	431	453	549
イタリア	199	272	326
ポルトガル	0	4	109
チェコ	0	0	50 (人)



¹ Risk of measles transmission in the EU/EEA, 23 March 2018, European Center for Disease Prevention and Control (ECDC) その他: Monthly measles and rubella monitoring report, May2018, ECDC

欧州における麻疹ワクチン定期接種状況 (2018年6月1日現在)

各国の小児ワクチンプログラム状況¹

■ 接種義務国(10カ国)

イタリア*、クロアチア、スロバキア、スロベニア、チェコ、ハンガリー、フランス*、ブルガリア、ポーランド、ラトビア

● 接種推奨国(21カ国)

アイスランド、アイルランド、イギリス、エストニア、オーストリア、オランダ、キプロス、ギリシャ、スウェーデン、スペイン、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、ベルギー、ポルトガル、マルタ、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ、ルーマニア

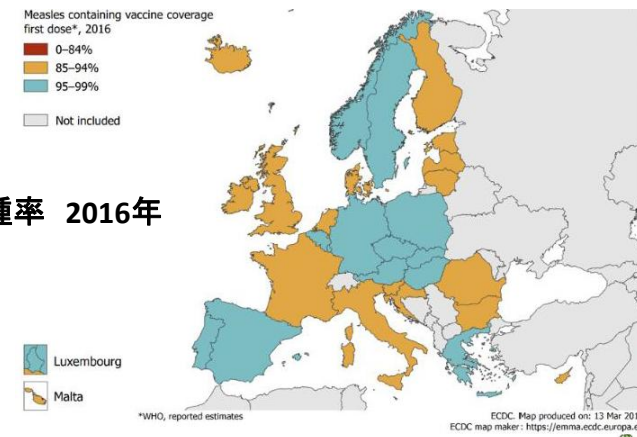
*イタリアは2017年、フランスは2018年より罰則付き接種義務化となった。

接種時期¹

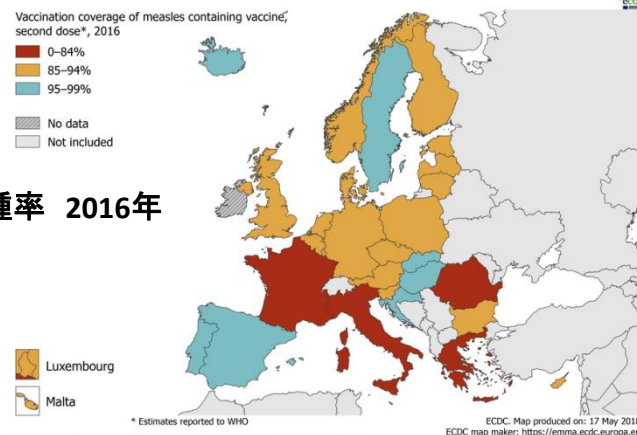
国名	義務: ■ 推奨: ●	1回目 接種時期	2回目 接種時期	ワクチン 2回接種率
アイルランド	●	12ヶ月	4～5歳	-
イギリス	●	12ヶ月	3歳	85-94%
イタリア	■	13～15ヶ月	6歳	< 85%
スペイン	●	12ヶ月	3～4歳	95-99%
ドイツ	●	11～14ヶ月	15～24ヶ月	85-94%
スウェーデン	●	18ヶ月	6～8歳 (1～2学年児)	95-99%
フランス	■	12ヶ月	16～18ヶ月	< 85%
ハンガリー	■	15ヶ月	11～12歳 (6学年児)	95-99%

接種率²

ワクチン1回目接種率 2016年



ワクチン2回目接種率 2016年



1: Vaccine schedule platform, European Centre for Disease Prevention and Control (ECDC)

2: Risk of measles transmission in the EU/EEA, 23 March 2018, ECDC